



# 肝ぞう通信

## 第 8 号 《 肝硬変の合併症対策 》

### お知らせ

肝疾患医療センターは、肝疾患に関する心配事や悩み事のご相談にお応えしています。当院では、総合相談室が窓口になっております。

場所：病院 1 階  
総合相談室

受付時間：  
平 日 9：00～15：00  
土曜日 9：00～12：00  
(第 2・4 土曜日除く)

### 豆知識

肝硬変は様々な合併症があります。定期的に受診し、主治医と相談しましょう。定期的な腹部超音波（エコー）検査や上部消化管内視鏡も必要です。

### 次回号

テーマ：  
浮腫、腹水がある方の食事について

### 発行責任者

東海大学医学部付属病院  
肝疾患医療センター長  
加川 建弘

## 肝硬変とは

肝臓は生体内最大の臓器であり、糖・脂質代謝、薬物・アルコールの解毒、血清蛋白質の合成など多種の機能を保持している重要な臓器です。その肝臓に炎症が起き、肝細胞の破壊と再生が繰り返されると徐々に「線維（コラーゲン）」が増加してきて、やがて肝臓全体に広がり肝硬変へと進行します。

肝硬変は様々な合併症がありますが、肝機能の維持や改善を目指す為には、まず肝障害の原因除去が大切です。B 型・C 型肝炎ウイルスには抗ウイルス療法を、アルコール性肝硬変では禁酒を行い、肝炎を鎮静化させることが重要です。

## 肝硬変の合併症

肝臓の機能低下や門脈圧の上昇により、以下の様な様々な合併症が生じます。

- ①腹水、浮腫
- ②肝性脳症
- ③黄疸、かゆみ、筋痙攣
- ④食道静脈瘤、胃静脈瘤
- ⑤肝臓がん

### 対策：①腹水、浮腫

塩分制限：1 日に摂取する塩分量を 5-7g/日に制限します。

利尿薬：スピロラクトン、フロセミド、トルバプタンなどを内服します(主治医と相談して内服の調整が必要)。